

コミュニティ運営  
へのお誘い  
～運営に回ると楽しいよ～

#efsta54 #thksec

法林浩之

hourin@suplex.gr.jp



# 法林 浩之

@hourin

日本UNIXユーザ会(jus)幹事  
フリーランスエンジニア  
さくらインターネットに常駐

主に東京で活動するが全国に出没

詳しくは「**法林浩之**」で検索  
もしくはWikipediaを参照

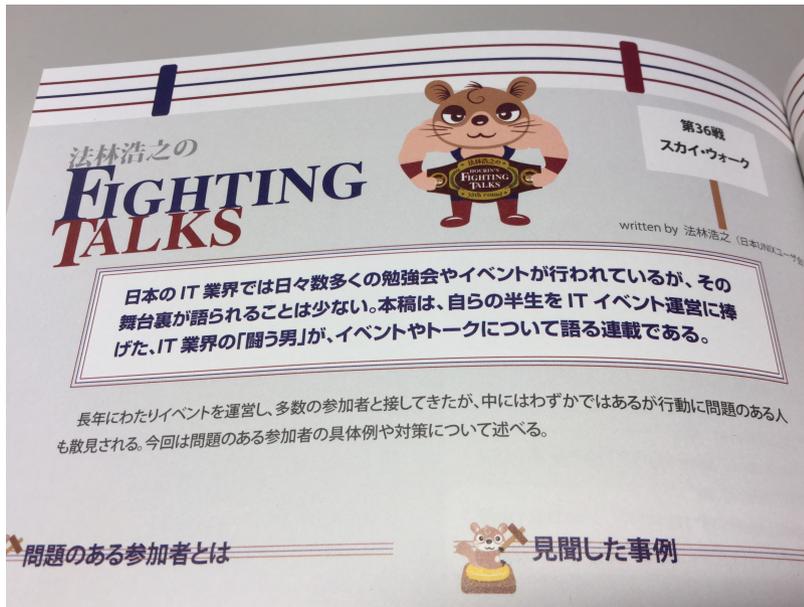
# 公私にわたり多数の コミュニティ/ イベントを運営



Kansai Open Forum



# 連載記事



シェルスクリプト  
マガジン

Software Design

# 本日のメニュー

コミュニティってなんだろう？  
概要/現状/私的関わり

コミュニティに参加するといいいことある？  
利点/注意点/参加のコツ

運営に回ると楽しいよ(?)  
利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営者が考えていること  
地域とコミュニティ

コミュニティってなんだろう？  
概要/現状/私的関わり

コミュニティに参加するといいいことある？  
利点/注意点/参加のコツ

運営に回ると楽しいよ(?)  
利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営者が考えていること  
地域とコミュニティ

# 広義のコミュニティ

英語では”community”

集団/共同体 などの意

ITに限らない

学級/部活/町内会など

# 狭義の(IT業界の) コミュニティ

IT関係で特定の技術テーマや  
地域などをキーワードに集まる  
同好者のグループ

# ITコミュニティの起源

詳細は不明だが  
コンピュータメーカー主導の  
ユーザ会は30年以上前から  
存在したらしい

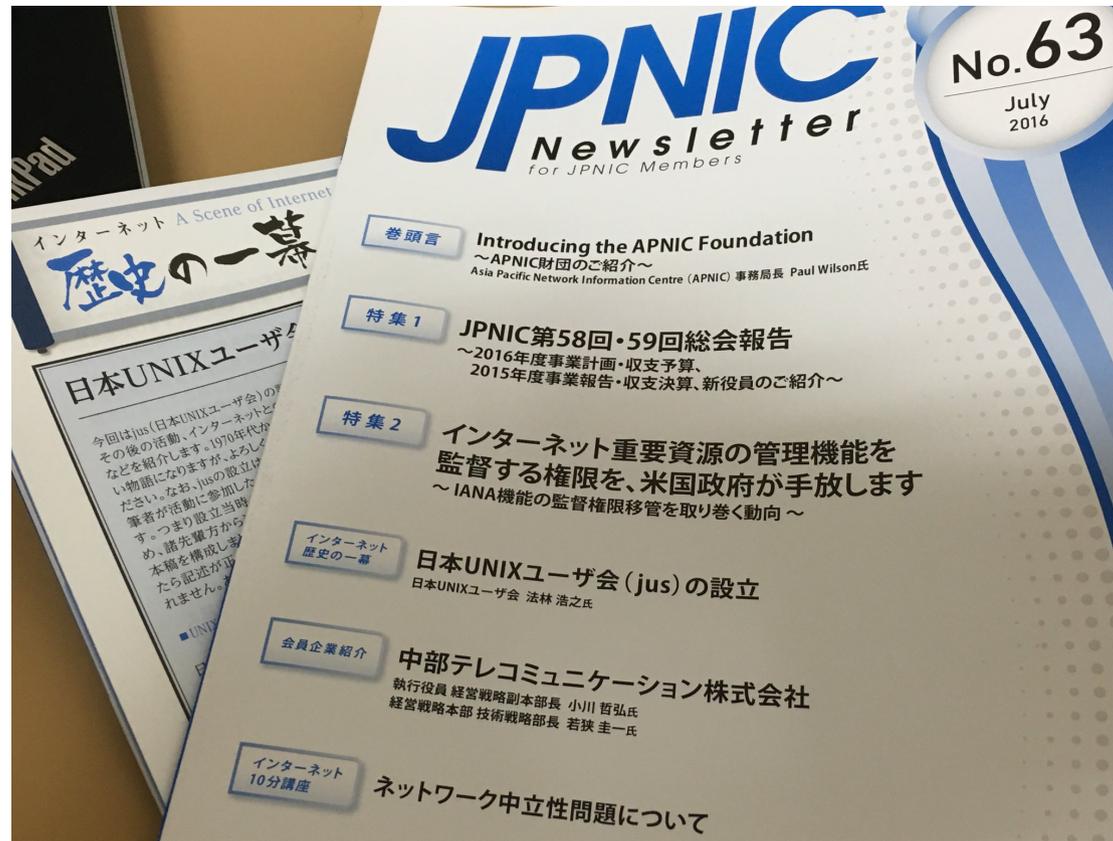


日本UNIXユーザ会  
1983年設立

jusは日本のUNIXおよび  
オープンシステムに関する  
ユーザグループの

草分け的存在であり、

UNIXユーザを中心とする会員が  
さまざまな活動を行なっています。



JPNICニュースレター  
「インターネット歴史の一幕」に  
「日本UNIXユーザ会(jus)の設立」  
という題で寄稿(2016年7月)

# 日本における UNIXコミュニティの形成

石田晴久先生により  
日本にUNIX伝来(1976年)

関係者を巻き込んで勉強会を開催  
(コミュニティ形成)

DECUS(DECのユーザ会)に  
UNIX部会が作られる

# 日本における UNIXコミュニティの形成(続)

1980年代に入ると多くのメーカーから  
UNIXマシンが発売される

DECUSから独立してjus設立(1983年)  
UNIXの開発と普及に尽力

1990年代以降のインターネットや  
オープンソースの発展につながる

現代的な

ITコミュニティの

発達は

ここ10年ぐらい

インターネットの普及(1995-)

遠隔での共同作業が容易に

オープンソースの普及(2000-)

共同開発の考え方が広まる

ソーシャルメディアの普及

(2005-)

情報拡散も容易に

# 世界的に見ても日本は ITコミュニティ/勉強会がさかん

The screenshot shows the TechPlay event calendar for July 2017. The calendar is organized by day, with the number of events for each day listed at the top: 23日 (44件), 24日 (34件), 25日 (50件), 26日 (61件), 27日 (42件), 28日 (52件), and 29日 (81件). The 29th is circled in red, and a red arrow points to it from the text below. The events listed for the 29th include 'エフスタ!!勉強会&東北情報セキュリティ', 'オーストラリアのIT文化を学ぶ会 山(第56回)', 'Tokyo Open Jolaric 勉強会', and '[Django-girlsJpn] PyTorch 情報処理安全確保支援士のみんなの勉強会(勉強会始めて&メイドさんと一緒に楽しく学ぶAndroid)'. The URL 'https://techplay.jp/event/627349' is visible at the bottom left of the browser window.

<https://techplay.jp/calendar>

週末は特に多い

業種はさまざま

ほぼすべての業種に  
コミュニティが存在

# 職種もさまざま

開発者コミュニティ  
一緒に何かを開発する

運用コミュニティ  
運用に関する情報交換

ユーザコミュニティ  
使い方に関する情報交換

# 運営形態もさまざま

規模

公開/非公開

有料/無料

業務との関係の有無

重要な共通点  
「自主的にやっている」

立ち上げ/体制作り/  
イベントなど

私と

コミュニティ

すみません  
長い

25年ぐらい  
あります



大阪大学 基礎工学部 情報工学科  
(現:情報科学科)にて  
**UNIXとインターネット**に出会う  
(1988年)

まだインターネットでなく**JUNET**

JUNETにつながっている  
組織は少数(当時で約200)

UNIXが使える学科も少数

Webはまだ発明されていない



ネットニュースの常連投稿者になる  
自身初のソーシャルメディア利用(?)



**UNIX Fair**のスタッフを務める(1989-1991)  
jusの活動に参加  
(自身初のコミュニティ参加)

就職で東京へ行くと  
同時にjus幹事に(1992-)

自身初のITコミュニティ運営

先輩幹事たちと一緒に  
勉強会や展示会などを運営

# オープンソースまつり (1999-2001)



日本のオープンソースコミュニティが  
一堂に会した最初の展示会



展示会場内の特設ステージを運営

これを契機に  
多くのITコミュニティとの  
**交流**が生まれ  
多数のイベントを運営

# Internet Week (1997-)



インターネットの管理・運用系  
コミュニティを集めたカンファレンス

# 関西オープンフォーラム(2002-)



関西のコミュニティ/企業による展示会  
旧名称は「**関西コミュニティ大決戦**」  
今年は11/10-11(金土) 大阪南港ATCにて

# LLイベント (2003-)



プログラミング言語に関するイベント  
今年から”**Learn Languages**”に変更  
8/20(日) 日本工学院専門学校で開催

# jus研究会 (2007-)

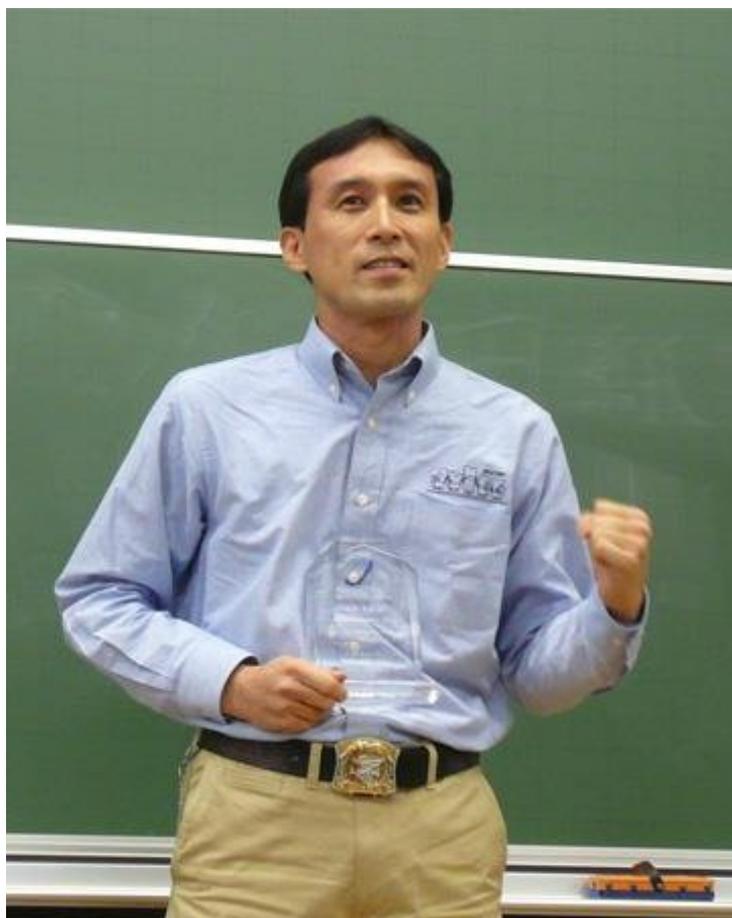


OSCなどの場を借りて  
全国各地のコミュニティの人に出てもらおう  
「ITコミュニティの運営を考える」開催中

# TechLION (2011-)



ITエンジニアが飲みながら  
語り合うトークライブ  
テーマは毎回異なる



日本OSS  
貢献者賞(2012)



楽天テクノロジー  
アワード(2013)

仕事の方は  
新卒から10年後に  
初めての**転職** (2002)

コミュニティ活動で培った  
**人脈を頼って**就職

さらに6年後に**独立**して  
個人事業主に  
(2008-)

コミュニティ人脈から  
仕事をもらって  
事業を継続

そうこうするうちに  
コミュニティの  
相手をする

**仕事**がやってきた

# さくらインターネット



2015年5月から常駐  
役職: コミュニティマネージャー  
コミュニティ支援やイベントを担当

# さくらインターネット提供



さくらのクラウド2万円クーポン  
sakura.ioパンフレット  
ステッカー / マグネットクリップ

振り返ると  
コミュニティと関わって  
人生が変わった

コミュニティってなんだろう？  
概要/現状/私的関わり

**コミュニティに参加するといいいことある？**  
**利点/注意点/参加のコツ**

運営に回ると楽しいよ(?)  
利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営者が考えていること  
地域とコミュニティ

コミュニティに  
参加する

利点ってなんだろう？

# 自分の技量の向上

授業や仕事では  
教わらないことを勉強できる

そしてコミュニティで  
勉強したことを  
仕事に役立てている

# 技術動向がわかる

コミュニティの活動状況は  
その技術に**関心を持つ人が**  
**多いかどうか**に比例する

盛り上がっているコミュニティを  
チェックしておくとい

# 人脈ができる

学外/社外に  
ITの話がわかる友達ができる  
わからないことの相談ができる

新たな仕事に  
つながることもある

# 就職/転職に役立つ

コミュニティの知人に誘われて  
就職/転職するケースが多い

求人媒体経由での採用に比べて  
技量や人柄がわかっているのもので  
評価しやすい

コミュニティ活動の  
意義を総合すると…

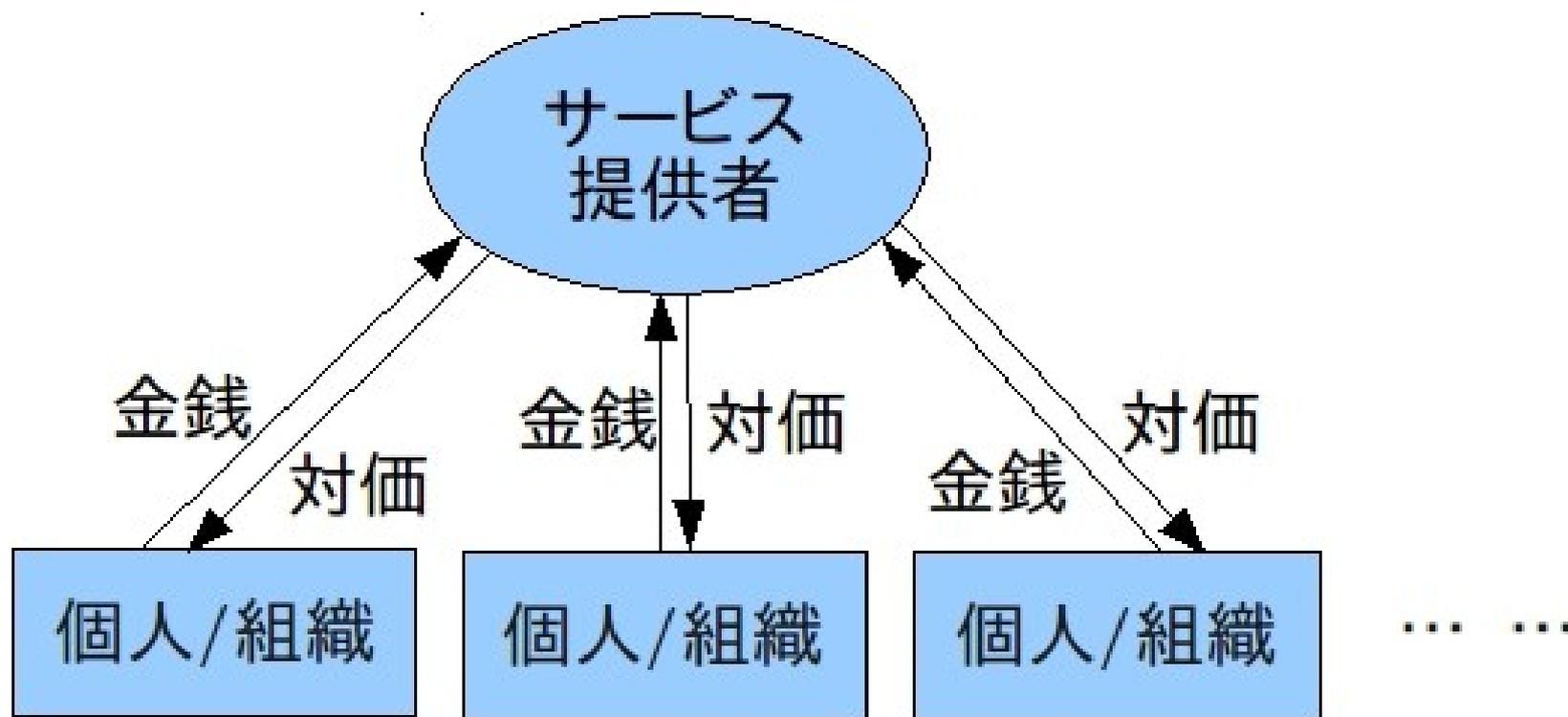
外の物差しを知る

そうすることで自分を  
客観的に評価できる

# コミュニティ活動に 参加する際の**注意点**

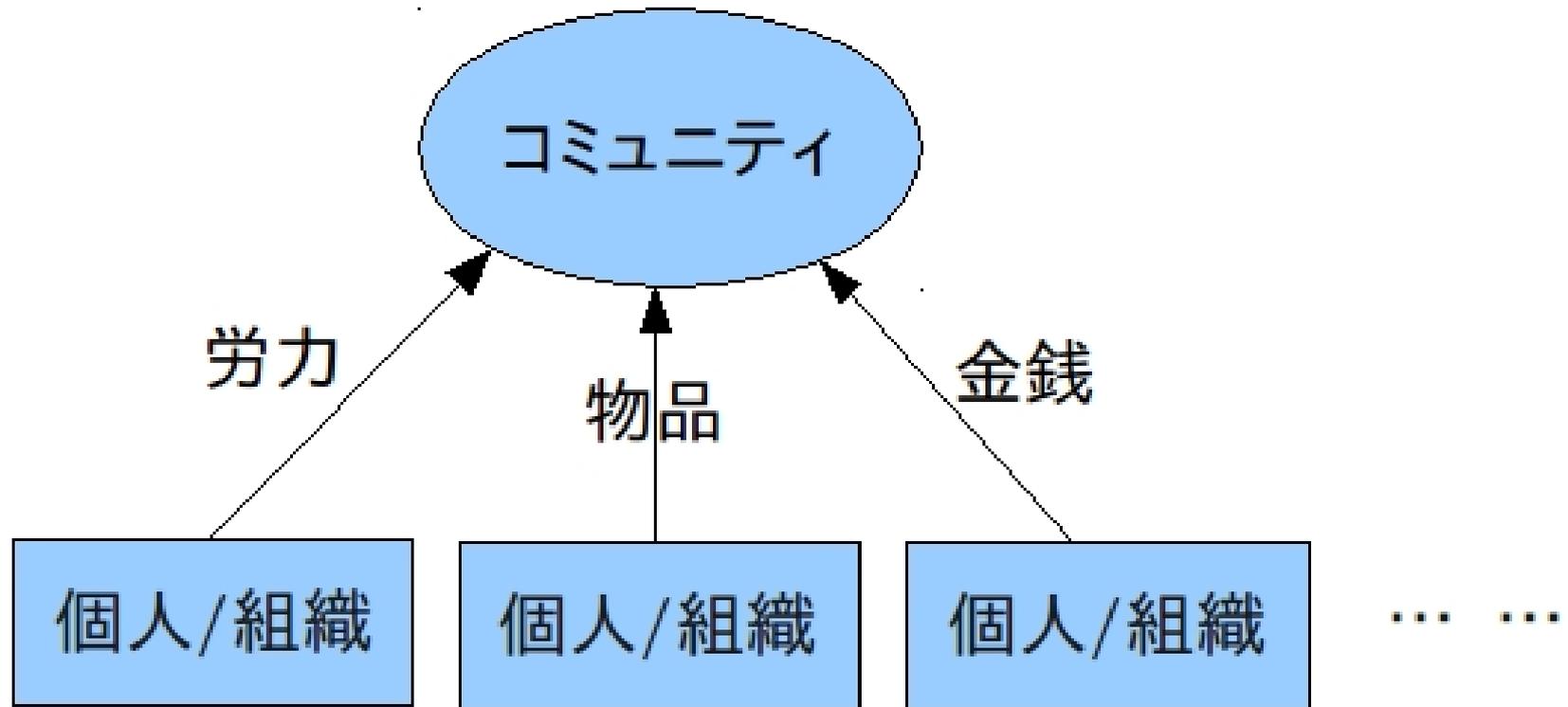
コミュニティ活動は  
サービスではない

# 企業のサービスを支える構図



客が金を払って  
対価(サービスなど)を受ける

# コミュニティを支える構図



各自が人/モノ/金を持ち寄って運営  
提供者に対価を払うことを目的としない

コミュニティ活動に

理解のある

会社に行こう

コミュニティ活動に  
理解のある職場と  
そうでない職場がある

そもそもコミュニティの  
存在を知らない

コミュニティに優秀な  
人材が多いことを知らない

社外への人材流出を恐れて(?)  
勉強会への参加を  
禁止する企業もあるらしい



自分は新卒で就職するときに  
ネットニュースに投稿できる会社  
という条件で探した

今だったら…

コミュニティ活動を  
している人が多い会社

経営者がコミュニティ活動に  
参加している会社

ただ勉強する

だけでなく

仲間を作ろう

# おすすめは 懇親会への参加

何人か知り合いができるはず  
特に主催者と知り合いになるとよい  
そこから他のコミュニティの情報を得て  
活動範囲を広げていく

# 固定した名前<sup>①</sup>で活動

実名か覚えてもらいやすい  
ニックネームで

自分の活動実績を残すには  
名前が必要

就職や転職時も名前が必要

# ソーシャルメディアを使う

自分の好きなSNSでよい

IDはできれば固定

自分の活動を発信する

(他人のではなく自分の)

(評論ではなく活動を)

コミュニティってなんだろう？

概要/現状/私的関わり

コミュニティに参加するといいいことある？

利点/注意点/参加のコツ

**運営に回ると楽しいよ(?)**

**利点/注意点/参加方法**

コミュニティ運営者が考えていること

地域とコミュニティ

コミュニティの

運営って

何をするんだらう？

コミュニティの運営 =  
コミュニティを**作り動かすこと**

具体的な作業項目は  
コミュニティによって  
大きく異なる

# コミュニティ運営の作業項目

## 開発

開発の指揮、開発環境の整備、  
ドキュメント作成など

## 普及

Webサイトの運用、SNSの運用、  
イベントの開催など

## 事務

連絡媒体/事務環境の整備  
(ML, Slack, Wikiなど)、会計、渉外など

# 乱暴に要約すると…

開発系では開発以外のすべて  
イベントでは登壇以外のすべて

# 異業種に例えると…

音楽だとミュージシャンではなく  
制作スタッフ

演劇だと役者ではなく制作スタッフ

プロレスだとレスラーではなく  
レフェリーやリングアナ

運営に回ると

本当に楽しいの？

何かいいことあるの？

というわけで

コミュニティを運営する

利点を考えてみた

参加者としての特典は  
ほぼ同様に享受できる

一部例外あり

イベントで講演を聴けないとか

さらに運営者ならではの

**追加特典**あり

偉くもないのに  
偉い人と面識ができる

技術的には明らかに上位の人と  
講演者vs運営者という図式で  
会話ができる

参加者が得られない  
情報を入手できる

講演では話せないネタ  
参加者の傾向/反応  
など...

# プロジェクトの 動かし方がわかる

コミュニティやイベントの運営は  
プロジェクト管理そのもの

業務のマネジメントにも  
たぶん役に立つ

# コミュニティ運営が 仕事になる

近年、自社サービスの  
ユーザコミュニティを作って  
拡販につなげる企業が多い

というわけで  
運営に回ると

結構いいことある

(と自分は思っている)

# コミュニティ運営に 関わる際の**注意点**

貢献する気持ちを持って参加しよう

実際に貢献できるかどうかは別

やれることがあれば  
貢献するぐらいでよい

# 裏方に徹する 心構えが必要

目立ちたいとか  
おいしいところ取りでは  
やっていけない

技術力はなくても

コミュニティへの

貢献はできる

コミュニティ運営においては  
IT以外の業務経験や  
趣味の特技も役立つ

自分にできる貢献を考えて  
実践してほしい

運営に参加するには  
どうすればいいの？

# 百聞は一見に如かず

まずはイベントの  
当日スタッフから

開発コミュニティなら  
プルリクから？

何回かやっていると  
常任スタッフに登用される

〇〇コミュニティの△△さん  
と言ってもらえるように  
なったら一人前

そうならば  
会社/学校に関係なく  
価値のある人間になれる

コミュニティってなんだろう？  
概要/現状/私的関わり

コミュニティに参加するといいいことある？  
利点/注意点/参加のコツ

運営に回ると楽しいよ(?)  
利点/注意点/参加方法

**コミュニティ運営者が考えていること**  
地域とコミュニティ

# ITコミュニティの運営を考える



jus研究会などを利用して  
各地のコミュニティ運営者との対談や  
参加者も交えた討論を実施

これまでの開催記録と  
セッションでの議論から  
浮かび上がることを紹介

# 試合の趣旨

ITコミュニティは増えた

運営者も増えた

でも**運営者同士の交流**の場は  
あまり増えていない

だったらjusでやってみよう

# 登壇者

## モデレーター

榎真治(日本UNIXユーザ会/  
LibreOffice日本語チーム)

法林浩之(日本UNIXユーザ会)

## ゲスト

コミュニティ運営者  
IT関係であれば分野は不問

# 試合形式

登壇者同士で  
お題を出し合って議論  
運営上の悩み  
他のコミュニティへの質問など

もしくは参加者をグループに  
分け、お題を出し合って議論

# 開催実績

- 2015年 東京(2回)、福岡、徳島
- 2016年 名古屋、札幌、沖縄、  
京都、新潟、大阪、広島
- 2017年 東京、名古屋、沖縄、  
札幌、東京

# 出場コミュニティ

## ソフトウェア系

日本NetBSDユーザーグループ, 小江戸らくぐ,  
LILO, tokushima.app, tokushima.rb,  
LibreOffice日本語チーム, html5j, OWASP,  
NVDA日本語チーム, baserCMSユーザー会

## 開発系

DevLOVE, 名古屋アジャイル勉強会,  
TEF道, LT駆動開発, すごい広島,  
長岡IT開発者勉強会

# 出場コミュニティ(続)

## ハードウェア系

日本ラズベリーパイユーザグループ

## ネットワーク系

JANOG, ENOG, QUNOG, ISOC-JP,  
JPNICオープンポリシーミーティング

## サービス系

JAWS-UG, JAWS-UG沖縄,  
GDG京都, OpenStreetMap関西

# 出場コミュニティ(続)

## イベント系

名古屋ギークバー, ハッカーズチャンプルー,  
OSC事務局, DroidKaigi

## 社会・教育系

Code for Japan, Code for Niigata, OSS Gate,  
子供とネットを考える会, NSC運営事務局

## その他

LOCAL, 日本UNIXユーザ会

どんなお題が  
出てきたか

存在を知ってもらうには  
特に大都市圏では  
地元の人にも伝わっていない

仲間を増やすには  
特に若手/学生の参加  
新人の定着など

長く続けるには

定期開催のコツ

マンネリ防止策

対象領域を絞った  
コミュニティは話題が  
マンネリ化しやすいらしい

# メンバー固定化の弊害

メンバーが固定化されると  
新人が入りにくくなる  
あるいは入っても定着しない

コミュニティの高齢化問題  
にもつながる

# 運営方針

団体のミッションの設定  
会則は必要か  
方向性の転換

# 運営の実務

スタッフミーティング(特に遠隔)  
成果物の記録や保存  
運営していると勉強できない

# 金の扱い

活動に対して金を払うか  
払う場合のルール  
費用をかけずに運営する方法

# 人の扱い

特定の人への負荷の集中  
問題のある人をどうするか  
運営向きの人とそうでない人  
ダイバーシティをどう考えるか

# 地域に関すること

東京と地元との対比

東京は勉強会が多過ぎる

地元を盛り上げるには

世界のコミュニティとの関係

同地域コミュニティ間の調整

# 企業との関係

ベンダーとコミュニティの  
適切な関係

コミュニティを利用しようとする  
企業をどうするか

セッションを

実施して

思ったこと

目標はそれぞれだが  
共通の悩みはあるらしい

存在が認知されない  
継続するのが大変  
メンバーの固定化/高齢化

運営手法は多種多様だが  
ノウハウは共有されていない

共有する場がない

ノウハウの価値が未知数

技術情報と違って  
ポリシーによる部分が多く  
正解/不正解で論じにくい

企画側としては  
いろんなコミュニティと  
対戦することで  
運営ノウハウの  
引き出しが増えた

# もっと試合したい！

未対戦の分野も多いし  
もっといろんなイベントで  
この試合をやりたいが  
できる場が少ないのが悩み

試合できそうなイベントが  
あったらご紹介ください

コミュニティってなんだろう？

概要/現状/私的関わり

コミュニティに参加するといいいことある？

利点/注意点/参加のコツ

運営に回ると楽しいよ(?)

利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営者が考えていること

**地域とコミュニティ**

正確には

「東京と他地域での

コミュニティの違い」

に関する考察

東京と他地域の

違いって

なんだろう？

# 東京と他地域の 違いその1

## 人口(母集団)

東京(首都圏)は  
人口が多い



ITコミュニティに関わる  
人数も他地域に比べて  
圧倒的に多い

人数が  
多くなると  
何が起きる？

人数が少ない  
→1人で全部やる

人数が多い  
→1人で全部やらせず  
分業が進む

東京は母集団が大きい  
→コミュニティが**細分化**

他地域は母集団が小さい  
→細分化されない  
複数のコミュニティが  
あってもメンバーは同じ

コミュニティが  
細分化されるのは  
良いことか？

## 良い点

専門性が高くなる  
より深く勉強できる

## 悪い点

他分野の知識が身につかない  
他分野の人との接点がなくなる

個人的には幅広く勉強  
しておいた方がいいと思う

システムは多数のパーツが  
協調して動作するものだから  
ある技術が廃れても他に移れる

そういう意味では  
地方のエンジニアの方が  
良い勉強ができるかも

# 東京と他地域の 違いその2

## 勉強会の出席率

**出席率**  
**= 参加者 / 参加登録者**

**東京以外 : 80-100%**

**東京 : 50%前後？**  
参考 : 昔はこんなことなかった

勉強会運営者にとって  
出席率の低下は  
頭の痛い問題

参加人数の予測が難しい

懇親会は飲食物の用意が  
必要なのでさらに困る

東京ではマナーの悪い  
参加者も散見される

無断欠席

時間帯が重なる勉強会に登録

懇親会(無料)だけ参加し  
飲食だけして帰る

# 私の関心事

どうしてこうなった？

この問題は  
解決できるのか？

どうして  
こうなった？

母集団が巨大化すると  
人間関係は希薄になる

小さい街では皆知り合い  
東京では隣人同士も知らない

東京のIT業界も  
巨大化して  
人間関係が希薄に  
なっているのでは？

(仮説)

# 地域コミュニティ

人間関係が密接

- 運営者に迷惑なことはしない
- 参加率が高い、マナーが保たれる

# 東京コミュニティ

人間関係が希薄

- 運営者への迷惑を顧みない
- 参加率が低い、マナーの低下

(仮説に基づく推測)

この問題は  
解決できるのか？

もしこの仮説が  
当たっているとしたら…

今後東京では  
この傾向が強くなる  
ことが予想される

この傾向に  
歯止めをかけるには…

単に勉強するだけの  
集まりではなく  
人のつながりを重視した  
コミュニティ作りをするといい？

# 地域コミュニティの良さ

1つのコミュニティで  
多くの分野を勉強できる

人のつながりがある

その良さを大事にしてほしい

まとめ

コミュニティってなんだろう？

概要/現状/私的関わり

コミュニティに参加するといいいことある？

利点/注意点/参加のコツ

運営に回ると楽しいよ(?)

利点/注意点/参加方法

コミュニティ運営者が考えていること

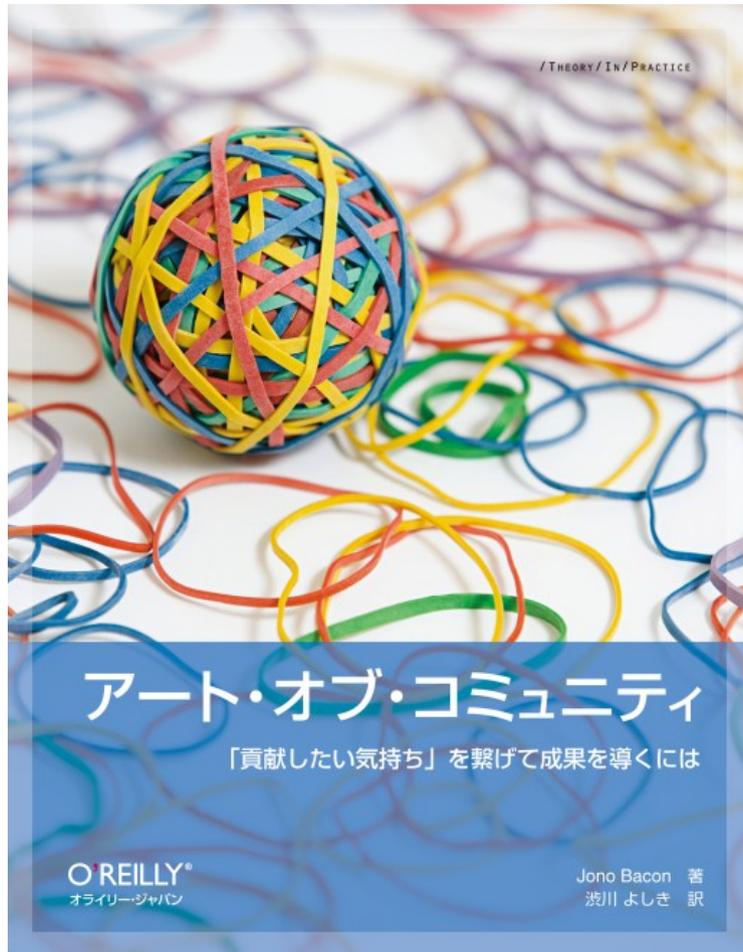
地域とコミュニティ

# メッセージ

コミュニティ活動の良さを  
多くの人に知って欲しい

皆さんの人生を豊かにする  
ために役立てて欲しい

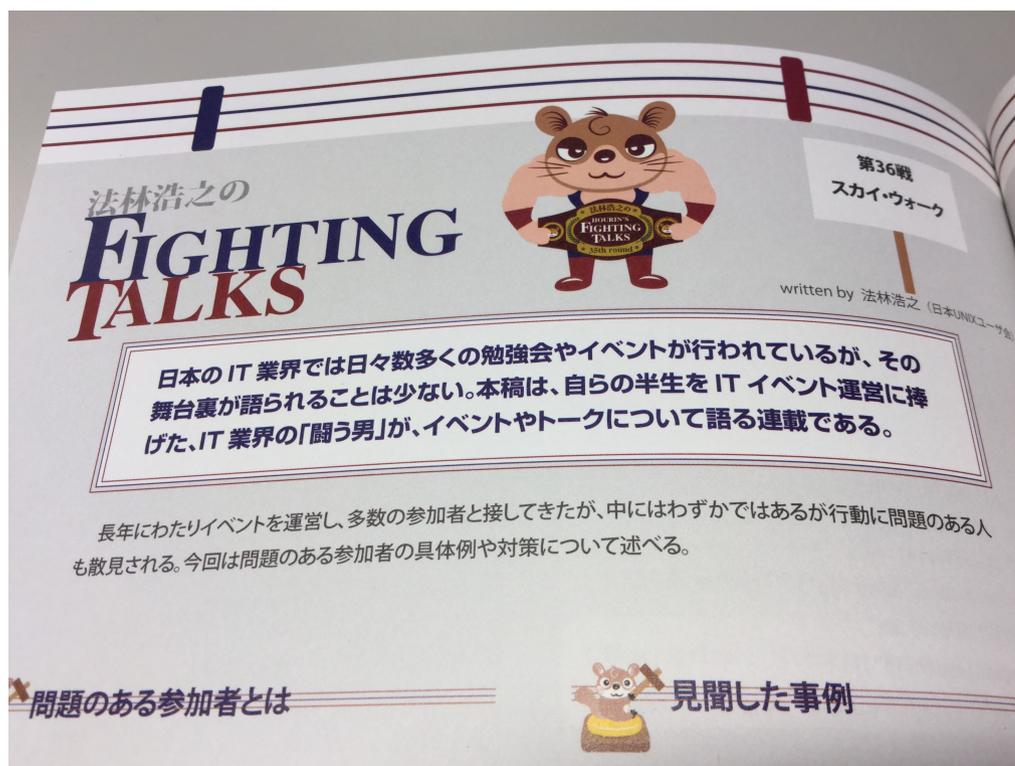
# アート・オブ・コミュニティ



Jono Bacon 著  
渋川よしき 訳  
オライリー・ジャパン

ITコミュニティの運営  
について書かれた本  
(2011年刊行)

# 法林浩之の FIGHTING TALKS



ITコミュニティや  
イベントの運営  
およびトークに  
ついて執筆

シェルスクリプト  
マガジンにて  
連載中

# 試合予定

- 8/3(木) シラサギハンズオン in 大阪  
powered by さくらのクラウド
- 8/4-5(金土) オープンソースカンファレンス京都
- 8/20(日) Learn Languages 2017 in ODC
- 8/27(日) July Tech Festa
- 9/2(土) IoTハンズオン@日本Androidの会熊本
- 9/5(火) TechLION
- 9/6(水) さくらのタベ セキュリティナイト
- 9/9-10(土日) オープンソースカンファレンス東京
- 9/30(土) シラサギハンズオン in 仙台  
powered by さくらのクラウド

(オフレコ: 来週公開予定)

# TechLION vol.31

2017年9月5日(火) 夜  
サイボウズ 東京オフィス

出演

辻伸弘、根岸征史、piyokango

MC

法林浩之、馮富久

(オフレコ:近日公開予定)

# さくらのタベ セキュリティナイト

2017年9月6日(水) 夜  
さくらインターネット 東京支社

## 内容

Webサイトのインシデント傾向  
Web制作のセキュリティ管理  
SiteGuardの紹介

**(オフレコ:近日公開予定)**  
シラサギハンズオン in 仙台  
powered by さくらのクラウド

2017年9月30日(土) 午後  
データコム 仙台本社

講師

ウェブチップス(シラサギ開発元)  
野原直一、稲谷昌樹、大草和也  
さくらインターネット  
法林浩之

# ありがとうございました



# つづきは懇親会で！